

【草花の部屋】

ハマダイコン

(アブラナ科ダイコン属 *Raphanus sativus* var. *hortensis* f. *raphanistroides*)

和名：ハマダイコン(浜大根)

別名：ノダイコン(野大根)

英名：Radish

アブラナ目 多年草

原産地：朝鮮、日本、中国

花言葉：ずっと待っています

花の色：薄紫色、白



← 写真-1 ハマダイコン

撮影日：2015年02月05日

撮影場所：大瀬海岸(奄美大島)にて

撮影者：M さん

▼ 写真-2 ハマダイコンの花

撮影日：2015年02月05日

撮影場所：大瀬海岸(奄美大島)にて

撮影者：M さん



← 写真-3 ハマダイコンの葉

撮影日：2015年02月05日

撮影場所：大瀬海岸(奄美大島)にて

撮影者：M さん



奄美大島北部の大瀬海岸を散策中に見かけました。

栽培種が野生化したものと考えられていたそうですが、遺伝的研究では日本の栽培種とは差が大きく、栽培種とは異なる可能性が高く、古い時代にもともとの原産地の地中海沿岸から中国を経由して人間の移動と共に入ってきた野生ダイコンが起源であるとする説もあるそうです。

葉は、ダイコンの葉に似て羽状に分裂し、まばらに毛があります。花弁は、茎の先端に数個の淡紅紫色から白色の十字で、紫脈があります。花後に細長い角状の果実をつけます。

日当りのよい砂浜などに自生的に生育し、海岸の砂浜に自生するものは、やや小さめですが、海岸に近い砂地に自生するものは大きく成長して群生するそうです。